



製作した街の立体模型を手に説明する参加者



「ずっと・もつと」住み続けた日吉台。1学区空き家対策委員会は12月2日、日吉台市民センターで、第2回ワークショップ「みんなが集まる町」を開催、子育て中のお母さんや同対策委員、まちづくり協議会員ら住民約20人が参加した。

「ずっと・もつと」住み続けた日吉台を展望した「日吉台まちづくりビジョン 2026」を策定。「安心・安全な町」「みんなが集まる町」「健康な生活と健全な成長を見守る町」「助け合いの町」「楽しいコミュニティの町」の5つの基本方針に基づき、学区の団体、住民の協力を得てまちづくり活動を展開している。

日吉台は、少子高齢化が進行、今後空き家のさらなる増加が懸念されている。あこがれのニュータウンだった日吉台がこの先も「ずっと・もつと」住み続けたいまち」となるよう5つの基本方針の具現化が必要となっており、2回ワークショップとして子育て中のお母さんや学区の若い人たちの考える場、として企画した。

今回のワークショップも、学区の空き家対策の調査、研究で助言を得た都市環境研究所三重事務所の協力を受け行われた。会場は、日吉台市民センター大会議室で、「子育て中のお母さんたちが気軽に集える交流の場づくり」をテーマに参加者が4班に分かれ、立体模型を使ってまちのランドデザインづくりに挑戦、若い人たちにも魅力ある日吉台のまちづくりのあり方について意見交換した。

# まち・カフェで意見交換

# 日吉台をこんな街に！

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区自治連合会  
日吉台学区  
まちづくり協議会

発行責任者  
林 堅太郎

編集責任者  
村澤 真保呂

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書

# コミュニティ基金説明会

## 1月27日、市民センターで開催

学区自治連合会は12月開いた定例会で、学区コミュニティ基金を各自治会に分配する「日吉台学区コミュニティ基金取り扱い」(案)についての住民説明会を1月27日午前10時、日吉台市民センター大会議室で開催することを決めた。

学区自治連合会は12月開いた定例会で、学区コミュニティ基金を各自治会に分配する「日吉台学区コミュニティ基金取り扱い」(案)についての住民説明会を1月27日午前10時、日吉台市民センター大会議室で開催することを決めた。

学区自治連合会は12月開いた定例会で、学区コミュニティ基金を各自治会に分配する「日吉台学区コミュニティ基金取り扱い」(案)についての住民説明会を1月27日午前10時、日吉台市民センター大会議室で開催することを決めた。

学区自治連合会は12月開いた定例会で、学区コミュニティ基金を各自治会に分配する「日吉台学区コミュニティ基金取り扱い」(案)についての住民説明会を1月27日午前10時、日吉台市民センター大会議室で開催することを決めた。

# 学区の空き家対策、視察研修

## 松阪市自治会連合会



研修する松阪市の一行

三重県・松阪市自治会連合会一行が12月13日、日吉台を訪問、日吉台市民センターで、日吉台学区が行なう学区の空き家対策事業を視察、研修を行なった。

同自治会連合会の一行は、同会の小山利郎会長ほか、随員の松阪市職員含め24人。濱崎博・学区空家対策委員長が

は、同会の小山利郎会長ほか、随員の松阪市職員含め24人。濱崎博・学区空家対策委員長が

# 空き家対策勉強会

## 豊かな住まいづくりに向け

プロジェクトを使って説明。濱崎事務局長が日吉台が「行政を頼らず」独自に行う、まちづくりとしての空き家対策事業に参加者らは熱心にメモをとりながら耳を傾け、質疑応答では、まちづくりに関して活発な意見交換を行った。

この勉強会は、一般財団法人「ハウジングアソシエーション」から受けた助成金で開かれる事業。「今の家をより住みやすく、かつ資産価値を上げよう」がテーマ。今回の講師は、いずれも日吉台学区の住民でその道の専門家。

# 学区・騒音調査など要望

## 湖西道路・4車線化工事で

湖西道路4車線化に伴う通過車両による騒音、振動対策問題で、学区自治連合会(北海彰委員長)の小委員会は12月12夜、市民センターで、国交省・滋賀国道事務所と協議を行い、騒音や振動の現状を把握するため騒音測定調査を行なうことで意見の一致をみた。

設置して以来、学区側は騒音対策、振動対策について滋賀国道事務所に対し問題提起をしていた。学区側が、遮音壁の壁をより高く騒音対策などで国の環境基準を上乗せする対策を求めたのに対し、滋賀国道事務所側は一定の基準、決まりで騒音対策工事を行う。日吉台が無理だとの姿勢を示し

が、無機質な壁が連なる遮音壁外側に樹木を植えるか現在の樹木を残して欲しい、との住民の要望には前向きな姿勢を示した。上乗せ対策に難色を示したことから学区側が「国が実施する騒音対策は予測値による工事」と対策の不備を指摘、実際に騒音測定した実測数値による対策の実施を改めて訴え、同席していた大津市も測定調査実施に理解を示し、学区側が市に対し調査実施要望書を提出することになった。

# 澄みわたる熱唱、聴衆を魅了

## 第4回日吉台コンサート

文化の香り高い日吉台をめぐり、第4回日吉台コンサートが12月2日、日吉台市民センターで開かれ、ソプラノ歌手、ガハプカ奈美さんによる「歌声で世界を巡る」のプログラムの一部と素敵な歌曲が披露された。

出演のガハプカ奈美さんは、東京芸術大卒で、ドイツ国立ベルリン芸術大オペラ・劇場研究科を修了後、ヴィンテンベルク劇場の専属ソリストとなり、歌劇「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル役でデビュー。ドイツ各地でオペレッタ、歌曲、オラトリオと幅広く歌手活動を行い、国際的に高い評価を受けている。現京都女子大教授。ピアノ奏者は国際的に評価の高い萩原吉樹さん。



日吉台コンサートで熱唱するガハプカ奈美さん

コンサートは、アイルランド、チェコ、フランス、ドイツと、ヨーロッパ各地を旅するかのようになつたが、継続的な事業として展開するために実行委員を募っている。なお、今回は、今年6月に日本センチュリー交響楽団のメンバーを中心に「ゲスヒェン木管五重奏団」によるコンサートが企画されている。

聴衆を深く魅了する音楽会となった。またピアノ演奏の萩原吉樹さんは、伴奏にとどまらずユニークな独奏も加え、会場の雰囲気をも盛り上げていた。今回の第4回日吉台コンサートから学区まちづくり協議会の文化事業部が主催することになったが、継続的な事業として展開するために実行委員を募っている。なお、今回は、今年6月に日本センチュリー交響楽団のメンバーを中心に「ゲスヒェン木管五重奏団」によるコンサートが企画されている。

## 人推協「秋の集会」開催

### 4丁目目在、林賢三さんが講演

日吉ブロック「人権・生涯」学習推進協議会連合会主催の第50回人権を考える大津市民のつどい「日吉ブロック「秋の集会」

が12月8日、日吉台小学校で開催、第1分科会で、4丁目目在の林賢三さんが「インクルーシブ（共生）社会について考



秋の集会で講演する林賢三さん

略称、日吉人推協連は、坂本、下坂本、日吉台、雄琴4学区の人推協で構成、秋の集会は4学区が輪番制で実施、今年度は日吉台が当番学区にあたり日吉台小が会場となった。

集会には、日吉台はじめ坂本、下坂本、雄琴学区の人推協構成員や住民約260人が参加。野々口義信・日吉台学区自治連合会会長が校内放送を使って開催宣言したあと

アーチェリー競技  
**市スポーツ賞を受賞**  
4丁目、山本雅也さん



全国大会などで輝かしい成績を収めたスポーツ選手を顕彰する第31回スポーツ賞に日吉台4丁目近畿大生、山本雅也さん(22)の写真がアーチェリー競技で選ばれ、11月

大会運営委員長の栗津広之・日吉台学区「人権・生涯」学習推進協議会会長が「自分も人も大切にすること、人権尊重のまちづくりの広がりをめざしたい」と基調報告を行い、各学区ごとの4分科会で、それぞれ講演、活動報告、意見交流が行なわれた。

同小音楽室で開いた第1分科会の林賢三さんは、京都市北総合支援学校校長、JICA海外ボランティアなどを歴任。長年障害のある子どもの教育にかかわり現在もJICAボランティア応援団事務局長をしている。

林さんは、訪問したモンゴル、ウガンダでの障害児教育の現状や、子どもたちの様子などについて写真などを交え講演、「インクルーシブ（共生）社会の実現には、情報を発信しやすい環境づくりが大切だ」など、訴えた。

**玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!**

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり

電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

**どんど焼き**

新春恒例・日吉台小で

日吉台青少年育成学区民会議と日吉台夢・未来事業推進委員会は1月12、13の両日、日吉台小で、日吉台の恒例、新春風物詩「もちつき大会」と「どんど焼きまつり」を開催する。

もちつき大会は、12日午前10時、小学校体育館中庭で開催。どんど焼きは、13日午前10時、グラウンドで行なわれる。ど

んど焼きに使うしめ縄や正月飾りを各家庭に持参してもらい、残り火で餅などを焼いてもらう。また、当日の参加者には豚汁もふるまわれる。

伝統行事の良さを日吉台の子どもたちに伝えるため日吉台夢・未来事業推進委員会が、平成19年から始め、日吉台の新春の風物詩として定着している。問い合わせは、同事業推進事務局の山本由美さん(090・4279・8798)まで。

**困ります!そのオシッコ!!**

マナーを守りましょう!

犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

山本さんは、平成8年9月日生。日吉台小、日吉中を経て大津商業大商時代の3年生のとき、全日本選手権3位に入り、U-20代表入り。近畿大に進学した平成27年には、滋賀県勢を和歌山国体成年団体優勝に導いた。

平成30年6月には、ワールドカップ。ソルトレイク大会に出場、男子リカーブ33位、7月、ブルガリアで行なわれたヨーロッパ代表入り。ソフィア大会では男子リカーブで6位の成績を収めた。